

1月給食だより

2026年1月8日  
町田市立南第三小学校  
校長 工藤 成

あけましておめでとうございます

新しい年をむかえ、いよいよ3学期が始まりました。じゅう実した冬休みを過ごせましたか？今年度はインフルエンザなどの感染しょうがとても流行しています。体調管理に気を付け、3学期も元気に過ごしていきましょう。

今年(とし)はうま年(うまねん)！

よく味わってうま味を感じよう！

箸(はし)をうま(うま)く使いこなしてきれいに食べよう！

うま(うま)のように野菜をたっぷり食べよう！

1/24~1/30は「全国学校給食週間」です

日本の学校給食のあゆみ

学校給食の始まり

明治22（1889）年に、山形県の私立忠愛小学校で貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。大正12（1923）年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食がすめられました。しかし、戦争による食料不足で中止となってしまいました。

支援物資による学校給食の再開

戦後、子どもたちの栄養状態の悪化が心配され、昭和21（1946）年12月24日にアメリカのLARA（アジア救えん公認団体）からの支えんを受けて給食が再開されました。はじめは12月24日を「学校給食感謝の日」とし、その後1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。

バラエティー豊かな献立内容に

昭和29（1954）年に「学校給食法」が成立し、学校給食は教育活動として位置づけられるようになりました。昭和51年にはごはんが正式に取り入れられ、パン中心の主食からより多様な給食が登場するようになりました。

おにぎり  
や ぶな  
焼き魚  
つけもの  
漬物  
(明治 22 年ごろ)

五色ごはん  
えいよう  
栄養みそ汁  
たいよう  
(大正 12 年ごろ)

ミルク  
トマトシチュー  
(昭和 22 年ごろ)

コッペパン・ミルク  
クジラの竜田揚げ  
せん切りキャベツ  
(昭和 25～30 年ごろ)

ミートスパゲッティ  
牛乳  
フレンチサラダ  
(昭和 40～50 年ごろ)

カレーライス  
牛乳・塩もみ  
ゆで卵  
(昭和 51 年ごろ)

お年玉はもちだった！？

お正月は日本の文化を感じる機会があった人も多いのではないのでしょうか？

お正月という思いがかぶものの1つがお年玉。新年を祝い、大人から子どもへおづかいをわたします。「年玉」とは「年神様のたましい」を意味し、もともとはお正月の年神様に  
お供えたもちを、年神様からのおくり物として分けあたえたことが始まりだそうです。

1月11日は鏡開き

鏡もちを小さく割っておしる粉などに入れ、無病息災を願って食べます。もちを小さくするには物を使うのは武士の切腹を連想させえん起が悪いため、木づちや手で割ります。また、「割る」ではなく「開く」というえん起の良い言葉が使われます。

実は意味がある！おせちの食べ物

お正月に食べられるおせちの食べ物には意味がこめられています。

いくつかしょうかいするのでぜひ当ててみてください！

①黒豆

→まめ（勤勉）に元気に過ごせるように。

②こぶまき

→喜びがあるように。不老長じゆ。子孫はん栄。

③えび

→こしがまがるまで長生きできるように。

④田作り

→豊作になるように。（五穀豊じよう）

⑤れんこん

→将来の見通しが良い。

保護者の方へ

【給食の持ち物について】

3学期の給食は1月9日から始まります。給食当番のお子様は配膳の時にマスクを着用します。ランチョンマットや口をふくハンカチ等とともに、マスク（布マスクでも構いません）をご準備ください。あらかじめランドセルのファスナー付きポケット等にも予備のマスクをご用意いただけると助かります。ご協力よろしくお願いします。

【連続して欠食する場合】

連続して3日以上給食を欠食する場合、学校へお申し出ください。

おむすびの日

1月17日はおむすびの日です。1995年のこの日、阪神・淡路大震災という大きな地震が起きました。

食べ物が手に入らず不安な中、おなかをすかせて

ボランティアによって届けられたおむすびは

みんなの心と体を元気づけてくれました

1月の給食の中でもしょうかいします。ぜひ給食の意味や役割を考えるきっかけにしてみてください。